

No.141 (不定期配付)

"Great Wall" Street Journal

# 長城街日報

～中国株の現場から～



東洋証券株式会社  
上海駐在員事務所 所長  
奥山 要一郎  
2007年入社。本社シニアストラテジ  
スト等を経て、2015年より現職

## 意識高い系のコロナ対策、2022年も続きます

師走の上海をザワつかせたのは、とある邦人の不規則行動だった。中国の新型コロナ対策である在宅健康観察期間（7日間）中に、ルールを守らずに複数の飲食店やナイトクラブを訪問（つまりは「食べ飲み遊び」）。その後、PCR検査で感染が半明し、立ち寄った先はもちろん、濃厚接触者の勤務先やマンションもプチロックダウンと相成った。その余波で、各種イベントや食事会（忘年会など）が軒並みキャンセル。年末の書き入れ時だった飲食店からはため息が漏れた。まあ、馴染みの店からは「日本人は飲み歩く勇気がないのね。気にしすぎよ」という、なんだかよく分からない忠告（営業？）も来たのだが。

★ ★ ★ ★ ★

ご存じのように、中国のコロナ対策は徹底している。海外からの入境者は、最低でも14日間の集中管理（ホテルなどでの強制隔離）。北京の場合は「首都防衛」の観点から21日間隔離だ。上海では14日間の隔離後、7日間の健康観察（行動制限はあるが外出は可能）に移る。これを俗に「14+7」政策と呼ぶ。

期間設定は自治体ごとで微妙に異なる。入境地の青島で14日間のホテル隔離、最終目的地の煙台（同じ山東省）でさらに14日間隔離という「14+14」の経験者もいた。吉林省延辺では、集中隔離14日間⇒延長隔離7日間⇒在宅隔離14日間⇒健康観察7日間という「14+7+14+7」方式もあると聞いた。単純な足し算が複雑な方程式に見える。延べ5週間の隔離中は部屋から一步も出られず、さすがにキツイ。

中国のコロナ対策はなぜこうも徹底的なのか。まずは「輸入性」というキーワードが挙げられる。中国では新型コロナは海外からもたらされたとの認識が強く根付いている。先日も中国の知人から「お前知っているか。あれはアメリカから来たウイルスだ」と真顔で話しかけられた。誰かのせいで最終結論がまだ出ていないのに、やれやれという感じもするが、

様々な喧伝活動が奏功している結果とも言えよう。この前提は不変で、変異株の流入を防ぐ意味もあり、水際対策は継続しなければならないのだ。

次にゼロコロナという概念。お世辞にも衛生観念が高いとは言えない中国では感染症などが容易に広がりやすい。大規模な市中感染が起きると、デマや噂も相まって社会混乱を招く可能性もある。例外を許すと一気にタガが外れるのは宿命的な経験則。やるなら徹底的にやり抜かねば。現場の意識は高い。

先日訪れた浙江省温州。高速鉄道で駅に着くと、外国人の私は他の乗客とは異なる特別対応となり、駅のコンコースで突然PCR検査を受ける羽目になった。おいおい、聞いてないよ！結果は事後通知なのでその場で解放されたが、「外人には要注意」という空気をひしひしと感じる。ただ、その後に乗ったタクシーの運転手は、ノーマスク姿で口角泡を飛ばすが如く私に世間話をしてきた。勘弁してくれ…。必ずしも皆の意識が高いわけではないようだ。

湖南省の省都・長沙。消費が盛り上がる中部屈指の大都市だが、週末の繁華街はマスク姿が半分以下だ。市内バスに乗った際、マスクを付けているのは私一人だけで、逆に恥ずかしくなったほど。それでも、商業施設に入る際や地下鉄乗車時にはスマホの健康コード（リスク地域への訪問有無が示される）の提示が必要だった。緩急自在のコロナ対策である。

★ ★ ★ ★ ★

昨年に続き、コロナ対応で右往左往した2021年。もうすぐ始まる2022年も、2月の北京冬季五輪におけるコロナ対策の徹底ぶりが大いに話題になるのは目に見えている。それを自画自賛するメディアの予定稿も出来上がっていることだろう。私のような在留邦人は、現地の空気を読みながら、冒頭のような抜け駆け行為は慎み、大人しく暮らしていくのが関の山か。新しい年も安定第一。ミシンを使ってマスクでも手作りし、エレガントに駆け抜けていこう。

文中の見解は全て筆者の個人的意見です。写真、グラフ、表なども全て筆者によるものです。

最終頁に重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

## ◆ 注 意 事 項 ◆

### 外国証券等について

・外国証券等は、日本国内の取引所に上場されている銘柄や日本国内で募集または売出しがあった銘柄等の場合を除き、日本国の金融商品取引法に基づく企業内容等の開示が行われておりません。

### 手数料等およびリスクについて

#### ①国内株式等の手数料等およびリスクについて

・国内株式等の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2650%（税込み）の手数料をいただきます。約定代金の 1.2650%（税込み）に相当する額が 3,300 円（税込み）に満たない場合は 3,300 円（税込み）、売却約定代金が 3,300 円未満の場合は別途、当社が定めた方法により算出した金額をお支払いいただきます。国内株式等を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式等は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②外国株式等の手数料等およびリスクについて

・委託取引については、売買金額（現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買う場合には加え、売りの場合には差し引いた額）に対して 最大 1.1000%（税込み）の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

・国内店頭取引については、お客様に提示する売り・買い店頭取引価格は、直近の外国金融商品市場等における取引価格等を基準に合理的かつ適正な方法で基準価格を算出し、基準価格と売り・買い店頭取引価格との差がそれぞれ原則として 2.50%となるように設定したものです。

・外国株式等は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

### 利益相反情報について

この資料の作成後、掲載された銘柄を対象とした EB 等の仕組債等を東洋証券株式会社が販売する可能性があります。また、東洋証券株式会社またはその関連会社の役員またはその家族がこの資料に掲載された企業の証券を保有する可能性、取引する可能性があります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をご覧ください。

#### **【免責事項等】**

この資料は、東洋証券株式会社が信頼できるとされる各種のデータに基づき投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。また、この資料に記載された情報の正確性および完全性を保証するものでもありません。また、将来の運用成果等を保証するものでもありません。この資料に記載された意見や予測は、資料作成時点のものであり、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

この資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、東洋証券株式会社は、理由の如何を問わず、一切責任を負いません。株価の変動や、発行会社の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがありますので、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

この資料の著作権は東洋証券株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。

◇商 号 等：東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 121 号

◇加 入 協 会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◇本 社 所 在 地：〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1

TEL 03 (5117) 1040

<https://www.toyo-sec.co.jp/>

2021年12月28日  
審査部審査済